

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	2607
部 名	保健福祉部	課 名	保育課	課長名	長沢 博文
事務事業名	一時保育事業				
予算上の事務事業名	一時保育促進事業補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		13120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます				
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				事業開始年度
施 策 名	第2施策 子育て支援の充実				▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	一時保育促進事業実施要綱（国要綱）、相模原市一時保育事業補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	新さがみはら子どもプラン		「安心して子育てができるまち さがみはら」を基本理念に、子育て支援のための環境整備を進める。		
計画年次	13	年度～	17	年度	
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）</p> <p>保護者の勤務形態の多様化や、急病、冠婚葬祭など緊急的な事由による一時的な保育の需要に対応するため、一時保育事業を実施する保育所に対し助成し、児童福祉の向上を図る。</p> <p>(2) 対象（誰、何）</p> <p>一時保育事業として、保育に欠ける就学前の児童を受け入れる保育所。</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>事業実施施設数 民間保育所27施設、公立保育所4施設 合計31施設  延べ利用児童数 民間保育所27,949人、公立保育所3,965人 合計31,914人  助成内容 単価：4時間以下の利用 900円/人、4時間を超える利用 1,800円/人  補助額 45,796千円</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	67,716	46,345	45,796	67,810	67,810
一般財源	22,571	30,950	30,531	45,207	45,207
受益者負担金					
その他の特定財源	45,145	15,395	15,265	22,603	22,603
人件費の合計	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
事業コスト合計(a)	68,716	47,345	46,796	68,810	68,810
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）					
主たる事業名	一時保育事業		対象名称 (単位)	実施施設数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	68,716	47,345	46,796	68,810	68,810
対象数	24	25	27	29	29
単位あたり経費(円)	2,863,167	1,893,800	1,733,185	2,372,759	2,372,759
前年度比		0.66	0.92	1.37	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	年間延べ利用者数（人）	指標式と指標の説明		実績及び実績見込利用者数 / 予算上の利用者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	34,722.0	28,146.0	27,949.0		
目標	39,663.0	41,075.0	34,955.0	39,654.0	39,654.0
目標達成度	0.88	0.69	0.80		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	利用人数の伸率（％）	指標式と指標の説明		現年度利用者数 / 14年度利用者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	100.0	81.1	80.5		
目標	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0
目標達成度	100.0	77.2	73.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		緊急的な事由によるニーズに加え短時間・断続的な勤務等のニーズが拡大しているため、一時保育事業の必要性は一層重要度を増している。 保育計画に基づきさらに拡充を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 リフレッシュニーズを対象とするなど、供給量や利便性の拡充			14 課題として認識されたこと 利用料や補助金額の見直しによる安定的な財源の確保 リフレッシュニーズなど利用対象の検討・拡充 保育所以外の場所での事業実施		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			